（別添資料１）

事業所名　さくら棟高

支援プログラム（様式）

作成日　7 年　3 月　12 日

法人（事業所）理念	1人ひとりの個性を大切に育む	
支援方針	たくさんの成功体験を積むことで「自信」と「自己肯定感」を育む活動を取り入れ『自立（律）』を目指します。 得意・強みを活かし楽しく活動できる未来を創造できるよう支援します。	
営業時間	10 時　0 分から　19 時　0 分まで	送迎実施の有無　（あり）　なし
	支　援　内　容	
本人支援　健康・生活	・定期的な心身の把握 ・生活リズムの安定 ・構造化された環境 ・衣類の着脱 ・身だしなみや整え方	
本人支援　運動・感覚	・姿勢保持 ・視覚、聴覚、触覚などの感覚活動 ・つかむ、支える等の要素を取り入れた遊びの提供 ・指先トレーニング ・ビジョントレーニング	
本人支援　認知・行動	・様々な物に触れ、その性質や仕組み、形、色、大きさ、音、不思議さ等に興味や関心を持つ ・スケジュールと環境の調整を図り、落ちついて安心して行動ができる場所づくり　・文字や数字を利用し遊びやルールづくりに活用 ・実物や写真等本児が理解できる提示方法で、自分で決めたと感じられるような自己決定の形成	
本人支援　言語コミュニケーション	・実物、写真、絵カード、文字、記号、指差し、サイン等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用　・非言語表現を用いた多様なコミュニケーション ・今日の気分・気持ちや活動の振り返りなどを言語表出 ・ルールなどを絵や絵カードを使用し視覚化する	
本人支援　人間関係社会性	・アタッチメント形成と安定（自尊心を高める・認める）　・仲間づくりと集団への参加 ・遊びを通じた社会性の発達 ・自己理解と行動の調整	
家族支援	・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談支援 ・レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援	移行支援　・併用利用先や学校等との情報共有 ・移行先との調整や支援内容の共有 ・学校卒業後の生活に向けた成人期への意向を意識した支援の実施
地域支援・地域連携	・保育所、学校、医療機関、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所などとの情報連携や調整 ・ボランティアの受け入れ	職員の質の向上　・日々の意見交換（スタッフ同士の業務について、ご利用者の状況把握や問題点の共有） ・定期的なミーティングの開催　・内部、外部研修の受講
主な行事等	避難訓練(2月.6月)	